

令和6年3月29日

湧別町長 刈田 智之 様

湧別町庁舎等検討委員会（基本計画）

委員長 高橋 直 司



湧別町新庁舎建設等基本計画の策定に係る新庁舎に求められる機能、規模、
その他新庁舎建設等基本計画の策定に必要な事項について（答申）

湧別町庁舎等検討委員会（基本計画）は、令和6年1月10日付け湧総総第231号により諮問のありました、湧別町新庁舎建設等基本計画の策定に係る新庁舎に求められる機能、規模、その他新庁舎建設等基本計画の策定に必要な事項について、本年1月10日の第1回委員会の開催以降、限られた時間のなか、先進事例の視察を含め4回にわたり審議を重ねてきたところです。

新庁舎に求められる機能、規模等については、湧別町庁舎等集約化基本構想で掲げています、「人と自然が輝くオホーツクのまち」を基本理念とし、「町民サービスの向上につながる庁舎」、「誰もが快適で使いやすい庁舎」、「防災の拠点となる安心安全の庁舎」、「省エネルギー・環境負荷低減を考慮した庁舎」、「経済的で合理的な永く使える庁舎」の5つの基本方針のもと、検討・審議を行ってきました。

当委員会としては、行政機能の集約化をめざし策定されます基本計画に、新庁舎に求められる機能、規模などについて、下記のとおり検討・審議の中で各委員より提言のありました意見等をもって答申といたします。

なお、答申いたしました意見等については、基本計画に可能な限り反映され、湧別町がめざします「人と自然が輝くオホーツクのまち」の実現に向けた拠点施設となる庁舎が出来上がることを期待いたします。

記

1 答申としての意見等

第3章 庁舎整備に必要な機能及び規模

1. 庁舎整備の必要機能

(1) 町民サービス向上につながる庁舎

③利便機能

- ・ 24時間オープンスペースがあることが前提ですが、コインランドリー、宅配ボックスの設置。これに合わせてカフェマシンや軽食自販を備えた休憩・喫茶スペースがあれば利用が高まるのではと考えます。
喫茶スペースがそのように町民が集うような空間に利用されることにも期待したいですし、学校帰りの湧別高校生の利用も考えられます。
- ・ カフェの設置。住民が気軽に集え、行政が身近に感じられるようになると共に地元の食材を使い軽食など提供できれば高齢者の引きこもりの解消につながると考えます。

(2) 防災の拠点となる安心安全の庁舎

④防災備蓄庫

- ・ 避難所運営資機材を常備しておくための防災備蓄倉庫について、中湧別小学校設置個所を2階と明確にすべきと考えます。

(3) 町民サービスの向上につながる働きやすい執務空間

②会議室・打合せスペース

- ・ 町民がオンラインで少人数でも学べる設備が整った研修室を作ると、町職員の研修等にも使用することができ、行政の質の向上が図れると考えます。

④更衣室・休憩室

- ・ 通路を広くしてベンチを置き、腰をおろして靴を履き替えたり、ゆっくり準備ができるよう広く設計してはどうかと考えます。長靴の収納もできるように考えた方が良いでしょう。毎日使う場所ですから、快適に使えるように、ストレスが無いように整備してはどうかと考えます。
- ・ 職員が快適に働ける環境整備が必要と考えます。現在の庁舎で我慢していることなどの提案を職員の中から積極的にだしていただきたい。職員の就業環境が改善され、気持ち良く就業することが、町民サービスの向上につながると思います。

(4) 町民に開かれた議会機能

①町民に開かれた議会

- ・視察したうえで、対面タイプが良いと考えます。
- ・議場は現在のように立派なものではなく、また、汎用性のあるものが良いと考えます。
- ・議会中継の環境整備については既に記載されているが、開かれた議会を目指すのならば、インターネットでの発信は是非とも実施していただきたい。

(6) 省エネルギー・環境負荷低減を考慮した庁舎

②ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化の検討

- ・視察した際に ZEBReady の取り組みの説明を受け、非常に良いものだと感じました。その様な取り組みを町が率先して導入していただきたいので、検討ではなくもっと前向きな文言にしていきたい。
- ・新築庁舎への導入に向けて町職員は対町民への説明に向けて知識を深めていただきたい。

③効率的な維持管理とライフサイクルコストの低減

- ・将来世代に負の遺産とならないように、天井の高さを持たせるなどといった見た目を重視するような無駄は不要で、必要最低限の機能を持たせた庁舎にしていきたい。

(7) ユニバーサルデザイン機能

②案内機能

- ・庁舎内の案内表示は、壁だけでなく空間、特に床には何もないため、その辺を上手く活用しながら優しい環境にしていきたい。
- ・案内表示については、幅広い年代の方々の視線の高さを意識することや、町民が分かりやすい言葉を意識しながら検討していく必要があると考えます。

(10) 木材の利用促進、湧別町らしさを感じさせる庁舎

②湧別町らしさを感じさせる庁舎

- ・町有林という財産を持っているので、すべて鉄筋コンクリート造にするのではなく、柔らかみを感じる木材を有効利用していただきたい。

2. 中湧別小学校改修整備の必要機能

(3) 町民利用に関する機能

- ・天候に関わらず親子で遊ぶ空間の設置。

(6) その他建物全体で共有する機能

- ・道内の自治体へ防災対策の視察に行った際、体育館の壁に緊急時に救急用として使用するベッドを収納している設備を整備している事例があり、便利だと感じた。

第4章 新庁舎整備の比較

2. 中湧別小学校改修整備の必要規模

- ・中湧別小学校改修整備の必要な機能について、様々な機能を持たせる予定となっているが、今後の世代の負担を軽減するためには必要最低限の部分だけ活用する方が良く考えます。

第5章 庁舎の整備計画

1. 建物配置計画

(1) 新庁舎の位置

- ・新庁舎と改修する中湧別小学校の間に渡り廊下などの整備を前向きに検討していただきたい。

(2) 来庁者用、職員並びに公用車駐車場、駐輪場

- ・高齢者や子供は乗り降りに介助が必要な場合もありますし、雨天の場合は傘を開いたり閉じたり、駐車場の車間が広ければ楽です。また、狭いとドアを開けた際に隣の車にドアをぶつけることがあります。十分な車間があれば、そのリスクは低くなります。全部を身体障がい者等用の駐車スペース並みにはできないと思いますが、可能な限り車間を確保していただきたい。

2. 平面計画

(1) 新庁舎の平面計画

- ・町長など特別職の方が働いている姿が見えると親近感があっていいと考えます。

2 今後の進め方に対する意見

- (1) 今後の基本設計・実施設計において、将来的な人口減少やデジタル化などを見据えながら、様々な変化に対応可能なシンプルで機能的な使いやすい庁舎となるよう努めてください。
- (2) 近年の著しい物価高騰などを踏まえ、将来の財政的な負担も考慮し、建設費及び維持管理費等の低減が図られるよう努めてください。

3 庁舎等検討委員会（基本計画）での審議経過

| 区分 | 開催日・会場 | 主な審議事項等 |
|-----|---|--|
| 第1回 | 令和6年1月10日（水） 上湧別コミュニティセンター 2階大会議室 | ・ 諮問 ・ 委員長及び副委員長の選任について ・ 湧別町庁舎等集約化基本構想の説明について |
| 第2回 | 令和6年1月17日（水） 令和6年2月 6日（火） 津別町・美幌町視察 | ・ 委員参加人数 1月17日～7人 2月 6日～3人 |
| 第3回 | 令和6年2月20日（火） 上湧別コミュニティセンター 2階大会議室 | ・ 第1回及び第2回庁舎等検討委委員会（基本計画）開催結果の確認について ・ 新庁舎建設等基本計画の審議について（第3章・第4章） |
| 第4回 | 令和6年3月18日（月） 上湧別コミュニティセンター 2階大会議室 | ・ 第3回庁舎等検討委委員会（基本計画）開催結果の確認について ・ 新庁舎建設等基本計画の審議について（第1章・第2章・第5章・第6章） ・ 湧別町新庁舎建設等基本計画の策定に係る新庁舎に求められる機能、規模、その他新庁舎建設等基本計画の策定に必要な事項について（答申）（案）について |
| | 令和6年3月29日（金） 応接室 | ・ 答申 |

4 湧別町庁舎等検討委員会（基本計画）委員名簿 (敬称略)

| 住 所 | 氏 名 | 備 考 |
|----------|-------|------|
| 上湧別屯田市街地 | 高橋 直司 | 委員長 |
| 中湧別中町 | 柴田 洋幸 | 副委員長 |
| 緑 町 | 岩佐 雅弘 | |
| 南兵村三区 | 八巻 武則 | |
| 芭 露 | 菊地 厚 | |
| 栄 町 | 森 義文 | |
| 上湧別屯田市街地 | 北村 茂 | |
| 上湧別屯田市街地 | 篠田 悟 | 公募委員 |
| 北兵村二区 | 宮澤 道 | 公募委員 |
| 東 | 角矢 賢矩 | 公募委員 |